

令和6年度 第7回 国立大学法人三重大学経営協議会 議事概要

日時 令和7年3月14日（金）13時30分～15時12分

場所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤（正）学長（議長）

伊藤（歳）、大友※、馬岡※、河上、末松、竹林、丸山、服部、横山※ 各学外委員
鶴原、酒井、吉岡、佐久間、西岡、田中※、池田、織田島 各学内委員

欠席者 早川学外委員

陪席者 中津、小川※ 各監事

伊藤（信）、豊福、平山、森、松村、諏訪部 各学部・研究科長 （報告事項1のみ）

橋本 次期生物資源学研究科長 （報告事項1のみ）

企画総務部長

財務部長

企画総務部総務チーム

企画総務部企画戦略チーム

◎前回議事概要の確認

学長から、事前に照会した令和6年度第5回、第6回経営協議会議事概要（案）について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I. 審議事項

1. 令和7年度当初予算配分案について

佐久間理事から、「資料：審－1」に基づき、令和7年度当初予算配分案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

<主な意見等>

- 附属病院の財務状況を改善するために、経費削減や稼働率向上が不可欠である。
→休日の稼働率増加については、患者や看護師への影響が考えられるため、慎重に検討を進めていく。
- 外部コンサルタントなどの導入によるコストカットが必要ではないか。
→現在検討中である。
- 病院や全学の財務状況について、経営協議会にてモニタリングしていく予定はあるか。
→今後も財務状況については適宜報告し、意見を聴きながら改善に努めていく。

2. 人事労務に関する規程等の改正について

織田島事務局長から、「資料：審－2」に基づき、人事労務に関する規程等の改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 役員の退職手当における業績勘案率について

学長から、「資料：席上配付・回収」に基づき、役員の退職手当における業績勘案率について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、本事項の審議は、対象者を除く構成員により実施し、資料は本会議終了後に回収した。

II. 報告事項

1. 令和7年度全学方針、及び、部局の取組方針について

学長及び各学部・研究科長から、「資料：報－1」に基づき、令和7年度全学方針と各部局の取組方針について報告があった。

<全学方針に対する主な意見等>

- インターンシップについて、海外の事例を参考に長期的な制度を積極的に取り入れていくべきである。
- 教授・准教授の女性比率増加は難しい問題であるが、各役職の年齢層の推移はどのような状況か。
→若年齢化はしていない。准教授となっていく若手教員の女性比率自体が低い。
→他大学や企業の事例も参考に、育成と登用の両面からの対策が必要である。
- 三重大学の魅力を発信していくにあたり、学生が地域で将来の生活を描けるようなイメージを持ってもらうことが重要である。地域に貢献する企業との連携について、引き続き強化していただきたい。

<部局方針に対する主な意見等>

【人文学部】

- 東南アジアでの語学研修では、どのような言語を対象とするのか。
→英語を対象とする。ベトナムなどでは、独自の英語研究プログラムを実施しているという情報がある。

【生物資源学研究科】

- 紀伊黒潮推薦枠について、何名の定員を設定しているのか。また、県別の定員は設定しているのか。
→県別の定員は設定しておらず、合計で15名程度としている。

2. 令和7年度役員・副学長・学長補佐等体制について

学長から、「資料：報－2」に基づき、令和7年度役員・副学長・学長補佐等体制について報告があった。

3. その他

(1) 次回開催について

令和7年6月20日（金）13時30分～15時00分

Ⅲ. 意見交換

1. その他

なし

◎会議の最後に、退任する委員から挨拶があった。

以上